



もとみや

議会だより

第81号

令和6年10月30日発行

9月定例会

祝 敬老会



市議会のHPからご覧いただけます!

目次

- 特集…………… P 2、3
- 決算審査…………… P 4～8
- 議案審査…………… P 9
- 常任委員会…………… P10～12
- 討論…………… P13
- 議決結果…………… P14
- 一般質問…………… P15～21



▲糠沢・白岩地区



▲長屋地区

敬老会

9月8日~22日



▲松沢地区



▲稲沢地区



▲余興に出演された方々（四地区）

長寿の秘訣を参加者に聞きました!

- ・野菜づくり
- ・グラウンドゴルフ
- ・朝晩のウォーキング
- ・犬の散歩
- ・笑うこと
- ・友人とおしゃべり などなど



ご協力ありがとうございました!

表彰された金婚夫婦

地区	組数	地区	組数
本宮	7組	和田	3組
青田	1組	糠沢	3組
荒井	2組	長屋	4組
岩根	2組	稲沢	3組
高木	1組		



▲本宮地区（1区～10区）



▲四地区（青田・荒井・仁井田・岩根）



▲本宮地区（11区～14区）

本宮市

～各会場で盛り上がりました～



▲高木地区



▲和田地区

9月8日から22日にかけて、市内各地域で敬老会が開催されました。各会場では、金婚を迎えられたご夫婦に対して表彰が行われたほか、子どもたちや、地元の方々など、それぞれ歌や踊りを披露し、ご長寿をお祝いしました。今年は1,130名の方が出席されました。ご長寿おめでとうございます。

令和5年度決算 **認定**

一般会計 決算収支
 歳入 183億7,437万円 (前年度比4.3%減)
 歳出 171億8,867万円 (前年度比2.5%減)
 翌年度に繰り越すべき財源 2億7,710万円

実質収支 9億860万円 の黒字決算

決算審査意見

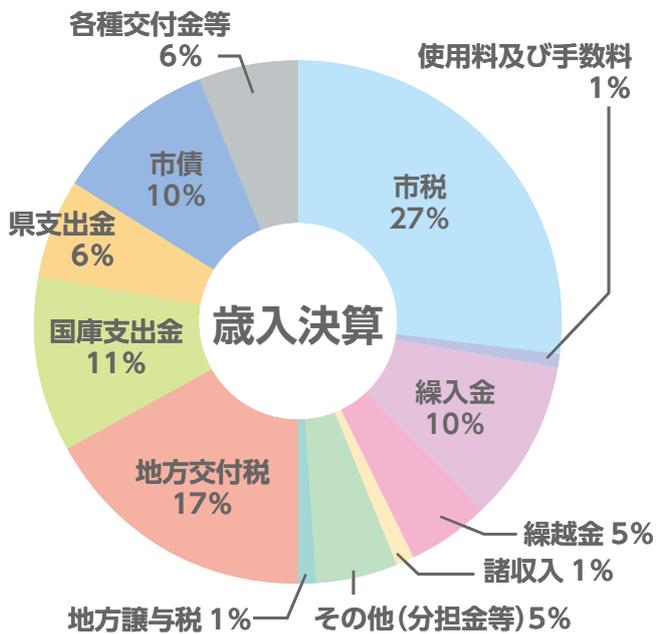
監査委員の意見書を
要約抜粋しています

世界情勢の影響などから、物価高など緊迫した社会情勢が続く中、SDGs、ジェンダーフリーなど世界的に多様性への対応を求められた行政を執行していくにあたり、将来に向けた持続可能な発展のため、社会環境の変化に柔軟に対応していく必要がある。加えて第2次総合計画の実現に向け、災害に強い生活基盤整備や、本市の特性と強みを生かした成長戦略を構築していく中で、高度情報化社会を見据えた魅力的な、次世代に誇れるまちづくりを目指し、効果的な情報発信にSNS等を活用するなど、各種施策を強力に推進されるよう努められた。

一方、効率性や透明性をさらに高めるうえで、次の事項について善処されたい。

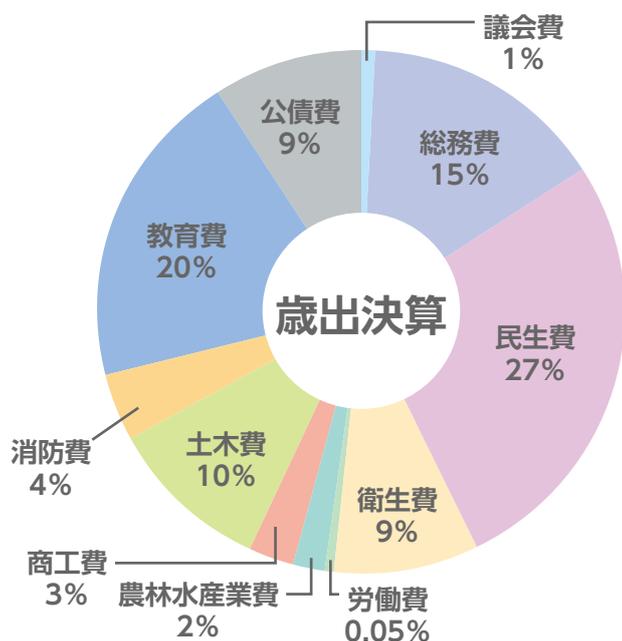
- ① 経常収支比率が物価高の影響により3・3ポイント上昇し、95・9となったことから、さらなる経費節減を念頭に、事業を計画的かつ効率的に執行することを心掛け、特に適切・適正な予算執行・事務処理及び進行管理に留意されたい。
- ② 市税等の収納事務について税・使用料等の徴収率が4年間継続して前年比を上回るなど顕著な成果が見られる。今後も「市民の公平性と財源の確保」を意識し、誠実な対応及び厳正な滞納処分を実施し、併せて不納欠損処理には引き続き慎重かつ適正な取り扱いをされたい。
- ③ 市の特性や魅力・イベント等を効果的・積極的に情報発信することで市内外ヘアピールし、更なる認知度向上に努め、交流人口や定住人口の増加につなげられたい。
- ④ 多様化する業務が増えつつあるため、職員の健康管理には十分に配慮されたい。

一般会計 歳入内訳



区分	決算額
自主財源	91億 869万円
市税	50億2,057万円
使用料及び手数料	1億5,072万円
繰入金	18億2,913万円
繰越金	9億2,010万円
諸収入	2億1,810万円
その他(分担金等)	9億7,007万円
依存財源	92億6,568万円
地方譲与税	1億8,578万円
地方交付税	30億9,793万円
国庫支出金	19億4,082万円
県支出金	11億9,132万円
市債	18億2,860万円
各種交付金等	10億2,123万円
歳入総額	183億7,437万円

一般会計 歳出内訳



区 分	決 算 額
議 会 費	1億8,741万円
総 務 費	25億3,101万円
民 生 費	45億9,689万円
衛 生 費	15億5,376万円
労 働 費	832万円
農 林 水 産 業 費	3億6,983万円
商 工 費	4億5,135万円
土 木 費	17億8,746万円
消 防 費	6億8,519万円
教 育 費	34億8,817万円
公 債 費	15億2,928万円
歳 出 合 計	171億8,867万円

9月定例会では、前年度の決算について審査が行われます。決算書は、事前に監査委員による審査が行われ、意見書とあわせて議会に提出されました。議会では「決算審査特別委員会（議長・監査委員を除く全議員）」が設置され、審査されました。

各会計決算額は以下のとおりです

会 計 名	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	183億7,437万円	171億8,867万円	
国民健康保険特別会計	(事業勘定)	25億9,498万円	25億4,378万円
	(直営診療施設勘定)	1億1,249万円	1億 687万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	3億3,718万円	3億2,712万円	
介 護 保 険 特 別 会 計	28億9,978万円	26億9,302万円	
工 業 用 地 造 成 事 業 特 別 会 計	1億2,667万円	1億2,615万円	
工 業 用 地 資 産 運 用 事 業 特 別 会 計	1億1,362万円	1億1,362万円	
水 道 事 業 会 計	収益的収支	10億7,271万円	9億4,509万円
	資本的収支	4億6,601万円	9億7,321万円
公 共 下 水 道 事 業 会 計	収益的収支	7億8,506万円	6億2,548万円
	資本的収支	3億5,593万円	6億3,748万円

総務費

問 男女共同参画推進事業について、事業概要で社会制度の構築に取り組むところまでが事業内容となっているが、実績が情報収集、講演を通じた意識醸成までで止まっている。今後の事業概要として伸ばすフォローはあるのか。

答 今年度策定する本宮市第3次男女共同参画基本計画の中で具体的施策、取組を計画し、新年度において事業展開を行う予定である。

民生費

問 敬老会の参加率が低いが、今後の事業継続の検討の考えは。

答 令和5年度敬老会の出席率は高いとは言えない結果であった。昨年度は4年ぶりの開催で、出演内容を限定したことや、コロナに対しての警戒心などが影響したと考えている。敬老会終了後、市と実行委員会でも振り返りの会を開催し、来年度以降もこのまま継続して行うといった意見が出されている。今年度の敬老会では、地元団体の出演が可能となり、昨年度より多数の出席者とりまとめの回答があった。今後も市と実行委員会で協力しながら方針を決めていく。

Question

決算審査とは

前年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、その内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することです。

ここでは、予算審議の段階で示されたものと実際の執行結果はどうか、期待された行政効果はあったかなど、幅広い審査が行われます。

土木費

問 立石市宮住宅撤去工事について、毎年少しずつ解体しているが、将来の目標や方向性は。

答 今年度の工事は9棟、13戸の解体を予定し、これにより空き住戸の解体がすべて完了する。現在お住まいの方については、戸別訪問をしており、引き続き、住み替え費用の支援の検討、交渉を進めていく。

問 市内全体の空き家総数の把握は。

答 細かい数については前後するため、大まかな数での把握となるが、650戸程度が空き家となっている。

教育費

問 未来へつながる英国訪問団OB会にかかる、訪問成果の地域還元とはどのようなものか。

答 昨年度の新規事業。初めて英国訪問した生徒が大学4年生の年齢となり、昨年度の参加者が、4年ぶりに訪問した話をした中で、どのように成果を還元するかという話し合いが持たれ、社会に出てから本宮を思い、その体験を広範囲に伝えていくことが第一との話があった。今後も新たな展開を見守りながら成果を積み重ねていく。

問 市民プールについて、年間利用が可能な施設のため、高額な維持費がかかっている。一人でも多くの方に利用していただき、維持費を軽減すべきと考え、利用促進の取り組みは。

答 現在、市民プール内に故障が多く、利用者に変な迷惑をおかけしている。まずは修理を行い、不自由なく利用できるように環境整備を進めていく。

消防費

問 防災体制整備事業について、すでに防災士資格を取得している方々を対象とした勉強会等の検討は。

答 地域の防災リーダーの育成のため防災士の取得支援をおこなっている。今後、防災士の方との意見交換等ネットワークを広げながら活動の場を設けていく。

問 消防団員数について、以前の条例改正で団員数を見直したという経過があるが、現状はどうなっているか。

答 令和5年4月から、条例定数を488名ということで改正している。現在の団員状況は461名で欠員が27名。それぞれ充足率100%の分団と満たしていない分団がある。



市長への総括質疑

渡辺秀雄 委員（創成会）

①ふるさと納税寄附金関係で、財源にする事業の種類によっては、ある程度恒久的、単年度で終わる事業でないものは、一般財源を充てるべきではないか。

②敬老会は、コロナで3年間ほど実施していなかったが、昨年度の実施状況を見ると、大変参加率が良くない。コロナの影響もあったと思うが、相対的にどうなのか。70歳以上を招待しているが、後期高齢者ということになると、75歳という範囲も考えられる。また、職員や実行委員の方々は、大変苦労されていると思うが、敬老会事業としてのあり方を今後考えていく必要があるのではないか。

高松義行 市長

①ふるさと納税は恒久財源ではないため、来年度の予算編成については、単年度出費で賄えるもの、ふるさと納税に協力をしていただいている方々の希望する使い道別により、どういう形で財源として割り当てるかを見直し、検討させていただく。

②敬老会は、前年度に復活し、出席率はコロナ前から比べるとそういう良い状況にはないことは事実である。対策については、いろいろと考えていかなければならない。実行委員の皆様、職員は本当に大変である。業者へ委託する方策についても話をさせていただいているが、今のところ、実行委員の皆様でできるうちはやりますというお返事をいただいている。今後、実施が困難となる前に、しっかりとした代替案を示せるように、準備を進めていかなければならない。対象年齢については、実行委員の皆様との話し合いの中でどうしていくか、積極的に議論していく必要があるが、地域の事情を含めながら検討する。

菊田広嗣委員(誠和会)

2021年から続く物価上昇傾向はいまだ止まらずに、令和5年度においても2%以上の上昇だったと記憶している。この物価上昇によって、光熱水費をはじめさまざまな部材等あらゆるものの価格高騰で、市の事業においても決して少なくない影響が出ているものと思われる。

①物価高による影響の大きさと、その影響による、それぞれの事業の圧迫をどのように捉えられているのか、さらに、今後の懸念点とそれに対する方針を伺う。

②今回の決算成果報告を受けて、来年度に向けたスクラップアンドビルドの方向性があれば伺う。

③職員の皆さんの事業遂行における目的と手法のしっかりとした分離、手法はあくまで手法であって目的化してはならないという意識や、そもその目的の明確化など、意識醸成の機会の拡大の考えは。

高松義行市長

①2021年度から続く物価上昇について、市としても非常に困惑している状況であるが、今回の決算状況はそう悪くなかった。サービスを抑えることなく実施することができた。これは、議員の皆様方の御指導をいただきながら財政の健全化に意を注ぎ、皆さんで作り上げてきたことが物価上昇においても市民サービスを続けられた1つの原因ではないかと考えている。他方においては、人件費も上がりようやく物価上昇に人件費が追いついてきたという状況である。これまでは、なんとか事業を進めてきた。また、ふるさと納税の収入を使わせていただきながら進めてきたが、一方で、経常収支比率が高い数値になってきている。周辺の自治体も同様で大変窮屈な予算運営を強いられる状況になってきている。このような状況の中、市民サービスをどう続けていくか非常に心配である。知恵を出していきたい、議員の皆様方からも御指導をいただきたい。

②来年度の予算編成について、職員にはすべての事業の見直しをかけるよう話をしている。それが成果として出てくるかはまだわからないが、既得権のように長い期間、補助を続けているものや、この補助が今必要なのかなどを含め、すべて見直すことによって次の一歩、一手が見えてくると思っている。4期目とも第一に挙げている公約は財政の健全化である。これをしっかりと担保した上で、市民の皆様方に喜んでいただけるサービスを議会の皆様といかに作

議案第56号 一般会計補正予算（第3号） 18億4,012万円の増額

今議会に提出された一般会計補正予算（第3号）の主なものは、子どもたちの健やかな成長や、市民サービスの向上に繋がる事業に充当するための、ふるさとともみや応援基金繰入金や、令和5年度決算による繰越金及び、普通交付税並びに、市税などの各歳入予算補正や、市民に身近な社会教育施設及び、社会体育施設の充実並びに、道水路の改良・維持補修など、安全・安心・快適な生活環境の維持・向上に資する経費を中心とした、各事業に必要な経費について計上されました。

補正予算の主な内容		補正額
歳出	シャワー室等設置工事（和暮和暮）	460万円
	財政調整基金積立金	1億7,374万円
	ふるさとともみや応援基金積立金	2億6,288万円
	道路維持補修工事 道路諸修繕工事	9,630万円
	教育施設等整備事業基金積立金	1億376万円
	仁井田地区公民館耐震補強改修工事	2億4,390万円
	しらさわグリーンパーク野球場 ラバーフェンス改修工事	9,300万円
歳入	ふるさと納税寄付金	5億円
	普通交付税	3億2,211万円
	地方特別交付金	3,012万円
	ふるさとともみや応援基金繰入金	1億7,106万円
	前年度繰越金	9,859万円

Question

総括質疑とは

会議の案件について一括して質疑をする方法です。

これに対し、一問ずつ答えを聞いていく一問一答の形式があります。

○総括質疑



○一問一答



③ 以前より前例踏襲とならないよう伝えている。実施することが目的になっており、これまでと同じく実施することが手法、目的になっている。何を目指しているのか、どういう成果を得たいのかを明確にして事業に取り組んでいく姿勢が、ご指摘の通り薄れてきている危機感は、私も同じく持っている。しっかりと修正していきながら来年度予算に取り組んで参りたい。

④ リ上げていくかが私の命題だと思っている。事業の継続性、事業のスクラップ、サンセットも含めながら、新たにライジングしていくものも育てていかなければならないと思っている。次年度の予算編成に入る際は、しっかりとこの点を捉えて査定を行う。

総務文教 常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市一般会計補正予算（第3号）についてのほか、議案2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算

説明 ふるさと納税の寄附額が当初の目標を上回って伸びていることから、返礼品贈呈にかかる費用を補正するもの。

問 ふるさと納税にかかる米の返礼品の出品状況は。

答 9月よりミルクレープの受付を開始し、順調に寄附数を伸ばしている。今後、準備が整いつぶの提供も行う。

本宮市公民館条例の一部を改正する条例の制定

説明 白沢公民館の改修に伴い、各室の使用料を中央公民館と同等の水準に引き下げるもの。

問 公民館使用料が無料になる基準は。

答 社会教育を目的とした使用の場合、無料となる。

本宮市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の改正

説明 本条例は東京23区などから本社機能を本市へ移転等を行う県による認定を受けた事業所が固定資産税の特例措置を受けられるものだが、県の認定期限延長に伴い期間を延長するもの。

問 本条例による固定資産税の特例措置を受けている本市の事業者数は。

答 現在まで本市における実績はない。

現地調査



荒井地区公民館、仁井田地区公民館の現地調査を実施した。

行政視察

【研修日】 令和6年7月4日(木)～7月5日(金)

北海道南幌町

【テーマ】移住定住政策について

南幌町では、令和4年より2年連続で人口増加率が日本一となっている。本市での移住定住政策の更なる推進に向け、南幌町の調査研究を行った。移住に関する支援について、マイホーム建築の際に、最大200万円の助成、更に団地内においては宅地価格を50%割引とする「子育て世代住宅建築費助成事業」を行っている。思い切った補助金政策は、町のPRとなり、また若い移住者に効果的な事業であった。次に子育て支援では、町独自の取り組みとして、こども1人につき毎年10キロ米の配布や、給食費の主食費に係る費用を、全額町で補助している。子育て世代に向けた経済的な負担軽減策等を行い、安心して子育てができる環境の整備を行っていた。南幌町と本市では地域の特性は異なるが、事業実施に向けた柔軟な発想やアイデアは大変参考となった。

北海道札幌市

【テーマ】ふるさと納税の取り組みについて

札幌市では、本市と同様ビール工場を有しており、ビール製品やソフト飲料などが人気返礼品である。本市と類似点があり、大規模に事業を行っていることから、札幌市の視察を行った。市独自の返礼品の開発を行っており「北海道マラソン出走権」を、体験型返礼品として今年度より追加している。また、令和6年2月より、さっぽろ連携中枢都市圏での連携事業として、電子商品券「さっぽろE旅ギフト」を開始した。連携市町村内にて電子商品券の発行と加盟店での利用ができる。札幌市は、独自のサービスによって寄附者の満足度を向上させていた。今後、本市においても、寄附者がより魅力を感じていただける返礼品の開発に向けて、大変参考となった。

生活福祉 常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定についてのほか、議案5件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

説明 マイナ保険証への切り替えに向けて保険証の返還規定を見直す。

問 マイナンバーカード取得率と、マイナ保険証の登録率は。

答 マイナンバーカードの市全体の保有率は8月末で79%である。また、国保被保険者に係るマイナ保険証の登録率は7月10日現在で66.6%。マイナ保険証登録は、スマートフォンでの操作や、市役所での登録支援だけでなく、医療機関でも可能である。

問 マイナ保険証を登録していない方への対応は。

答 国民健康保険証の場合、来年の9月30日が有効期限となっており、その時点でマイナ保険証を登録されていない方々へは、保険証と同様に、医療機関等で提示することで医療を受けられる、資格確認書を送付させていたたく。

一般会計補正予算

説明 市内で来年開設予定の介護事業所への補助金について補正する。

問 補助金の対象となる施設の概要は

答 市内の介護事業所が設置。職員は7人程度を予定しており、事業規模に応じた人数と聞いている。



行政視察

【研修日】令和6年7月10日(水)～7月11日(木)

大阪府堺市

【テーマ】ゼロカーボン推進事業について

堺市では、令和4年度にゼロカーボン推進事業の一つとして「エコライフポイント事業」を開始している。

ポイントは、加盟店舗の利用において、飲料購入時のマイボトル利用、食品購入時のカトラリー類の配布辞退、省エネ家電の購入などの際に付与されるほか、環境イベントの参加でもポイントを貯めることができる。貯めたポイントを、電子マネーや景品に交換することができ、ポイントの使い方を自由に選べる点が魅力であると感じた。本事業の参加者は堺市人口の0.36%となっており、参加者が伸びない点が課題であるものの、CO₂削減効果を数値により見せることで、参加者の行動変容がもたらした効果について、実感を与えることに成功していた。

市の魅力ある事業として福祉に限らず、産業等の多くの分野を活用して実施していくことで多くの方に定着する事業だと感じた。

大阪府枚方市

【テーマ】健康づくり増進事業について

枚方市では平成30年から「ひらかたポイント事業」を開始し、特定検診や介護予防教室、子育て講演会など約50の事業参加者へポイントを付与することにより、参加を促している。貯めたポイントは、小売店、飲食店、美容室、スポーツクラブなど約500店舗の協力店で利用可能で、協力店で買い物をした際にも、1%分のポイントが付与される。ポイント登録者は人口の1.68%であり、登録者の約8割が60歳以上の方であった。

健康長寿で魅力あるまちづくりを目指し多くの協力店が事業に取り組んでいる点が参考になると感じた。

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会には、令和6年度本宮市一般会計補正予算(第3号)のほか議案3件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

現地調査

中学校前線道路維持工事箇所及び、関根橋架け替え工事箇所の現地調査を実施した。



▲関根橋架け替え工事箇所

一般会計補正予算

説明 用悪水路の維持にかかる経費を補正する。

問 機械借上げによる維持補修と工事の違いは。

答 機械借上げによる作業単価には労務費が含まれており、業者が所有する機械等を使用し作業するもの。工事の場合、設計や契約の必要があり着手までに時間を要するため、早急に対応が必要な不陸整正などの維持補修については、機械借上げにより対応している。

説明 森林認証取得等補助金にかかる経費を補正する。

問 森林環境贈与税の用途は。

答 現在、森林の分布状況の確認や所有者に対する意向調査を実施しており、その結果を受け、森林経営管理制度に基づく森林の管理を、森林環境贈与税基金を財源として実施していく予定。また、今回補正計上した森林認証取得等補助金のほかに、しらすわ夢図書館へ壁面書架を導入した際に基金を充当した実績あり。

行政視察

【研修日】令和6年7月8日(月)～7月9日(火)

新潟県長岡市

【テーマ】スマート農業推進事業について

長岡市では、活力ある農業を次の世代に継承することを目的として「次世代農業推進拠点施設・あぐらって長岡」を整備し、令和4年9月からは国内初となるスマート農業トライアル施設を設置しており、先端技術の体験、研修ができる場を提供することで、女性や若者の新規参入、園芸農家の増加に繋がることが期待されている。

令和5年度からは「施設での研修受講」を要件の一つとしたスマート農業機器導入の経費を助成しており、機器の使用感を確認することで導入後のミスマッチを防ぐことができる。

本市においても、今後いかに農業者を確保・支援していくかが課題であり、今後の参考となる事例であった。

山形県鶴岡市

【テーマ】空き家対策事業について

鶴岡市は、空き家や空き地の増加による中心市街地の空洞化が懸念されており、平成25年に官民共同で「NPO法人つるおかランド・バンク」を設立し、空き家の適正管理や活用に向けたさまざまな取り組みを行っている。

また、小規模再編の継続により土地の価値を高めていくランド・バンクという手法の研究が進められており、これまでさまざまなケースの問題を解決してきている。

本市においては、空き家バンクの登録件数増加や流通促進が課題であり、今後の参考となる事例であった。

討 論

議案第46号 本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

反対

渡辺忠夫 議員

マイナンバーカードと国民健康保険証の一体化に伴い、本年12月2日をもって被保険者証の新規発行を終了し、マイナ保険証に移行することから改正するというものであるが、保険証を発行しないということをめぐる、マイナ保険証がないと医療機関が受診できなくなるなどの不安が患者、市民に広がっている。マイナンバーカードをご利用くださいとポスターやチラシで宣伝しているからである。そもそもマイナンバーカードを作るかどうかは任意であり、保険証として登録するのも使うかも任意である。任意の制度を普及するために保険証を廃止することは全く道理がない。任意であることを患者、国民、市民に徹底すべきである。政府は、現行保険証の廃止後、マイナ保険証を持っていない人には資格確認証を全員に配布することとしている。何のために保険証を廃止するのか。意味不明なだけでなく、これらは保険者の負担を増大させる。さらに重大なのは、現行保険証は期限が来れば新しい保険証が送られてくるのに対して、マイナ保険証は5年ごとに市役所に行って自分で更新しなければならない。更新を忘れると、窓口で10割負担を求められかねない。資格確認書も法律では希望者が申請することになっており、当面の間、申請なしで送られるが、その後はまだ決まっていない。現行の公的医療保険制度のもとでは、保険証を発行する責任は国、保険者にあり、それを揺るがすことは許されない。健康保険証の廃止は、60年かけて築いてきた、世界に誇る国民皆保険制度の破壊そのものである。命を守るために、健康保険証を廃止することをやめて、引き続き保険証を発行することを強く求める。

賛成

根本利信 議員

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、本年12月2日をもって被保険者証の新規発行を終了し、マイナ保険証で移行されることから、被保険者、その返還に関わる罰則規定を削除するものである。マイナ保険証は、医療分野においてデジタル化の前提となる仕組みでもあり、データに基づくよりよい医療の提供や、医療種に関する手続の省力、簡素化などのメリットが期待される。本条例は、国が定めている法令に基づき、市町村における事務手続を改正するものであるため本議案に賛成する。

議案第47号 福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

反対

渡辺忠夫 議員

この規約の変更は、議案第46号と同様のマイナ保険証への移行に伴う後期高齢者の被保険者証を廃止するという。理由は前号と同じであるが、特に後期高齢者についてはマイナンバーカードに馴染みがない状況にあり、カードのトラブルが多い昨今、リスクが増加することが懸念される。それらの心配のないように、これまでどおりの紙の保険証を発行することを求める。

賛成

根本利信 議員

今回の改正の内容は、マイナ保険証への移行に際し、マイナンバーカードの取得が進んでいない方々に対して、マイナ保険証に代わって資格確認書を発行するため構成市町村で行う事務の規定を改正するものである。本市の被保険者に安心して保健医療を受けていただくため、この資格確認書の発行が行える環境を整えることは、セーフティーネットとして大変重要なものであるため本議案に賛成する。

9月定例会賛否一覧

下記以外の議案等は全会一致で可決されています。

会派名	誠 和 会						新 風 会				創 成 会				公	共	無所属			
議員名	石橋今朝夫	菊田 広嗣	磯松 俊彦	玉川 実	渡辺 富幸	後藤 友誉	橋本 善壽	三瓶 裕司	斎藤 雅彦	根本 利信	田中美代子	国分 秀好	渡辺 秀雄	菅野 健治	三瓶 幹夫	馬場 亨守	川名 順子	渡辺 忠夫	伊藤 隆一	作田 博
議案第46号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（橋本善壽）は採決には加わらない

※ 会派名の略称は以下のとおり 公…本宮市議会公明党 共…日本共産党

令和6年9月定例会 議決結果一覧表

市長提出議案21件 報告3件、諮問4件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省 略	同 意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省 略	同 意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省 略	同 意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省 略	同 意
議案第42号	特別功労表彰について	省 略	同 意
議案第43号	特別功労表彰について	省 略	同 意
議案第44号	本宮市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第45号	本宮市公民館条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第46号	本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第47号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	生活福祉	原案可決確定
議案第48号	令和5年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第49号	令和5年度本宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第50号	令和5年度本宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第51号	令和5年度本宮市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第52号	令和5年度本宮市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第53号	令和5年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第54号	令和5年度本宮市水道事業会計決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第55号	令和5年度本宮市公共下水道事業会計決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第56号	令和6年度本宮市一般会計補正予算（第3号）	各常任委員会	原案可決確定
議案第57号	令和6年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	生活福祉	原案可決確定
議案第58号	令和6年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	生活福祉	原案可決確定
議案第59号	令和6年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第2号）	生活福祉	原案可決確定
議案第60号	令和6年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決確定
議案第61号	令和6年度本宮市水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	原案可決確定
議案第62号	令和6年度本宮市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	原案可決確定
報告第9号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—
報告第10号	令和5年度本宮市水道事業会計継続費精算報告書について	—	—
報告第11号	専決処分の報告について (専決第3号 和解及び損害賠償額の決定について)	—	—

請願 1 件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
請願第3号	市道館ノ越・関根線ほか関連道路等の整備を求める請願について	省 略	採 択

議員提出案件 2 件

番 号	議 案 名	議決結果
—	議員派遣	決 定
—	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

一般質問 市

政を問う



一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
磯松 俊彦 (誠和会)	・夏まつり魅力アップの方策は ・観光物産協会決算内容の周知は	16
後藤 友誉 (誠和会)	・保育所 ICT システムについて ・たかぎ保育所へ道路横断について	16
菊田 広嗣 (誠和会)	・不登校支援の計画は ・リフィル処方箋勸奨の考えは	17
渡辺 富幸 (誠和会)	・体育館の空調を整備すべきでは ・次年度の幼稚園給食について	17
玉川 実 (誠和会)	・本宮インター五百川駅の開発は ・人口の減らない街の基盤づくりは	18
国分 秀好 (新風会)	・GIGA スクールの運用現状は ・本市のスマート農業現状の取り組みは	18
根本 利信 (新風会)	・岩根小学校プールと校庭拡張計画は ・市道脇水路U字溝整備計画は	19
田中美代子 (新風会)	・緊急通報システム事業について ・産後ケアの市の取り組みについて	19
石橋今朝夫 (誠和会)	・就学前支援実施時期を早めては ・独り暮らし世帯を守る対策は	20
馬場 亨守 (創成会)	・市有地・公共施設の活用について ・本宮駅利用者数について	20
川名 順子 (本宮市議会 公明党)	・乳幼児健診の拡充は ・健康支援の今後の取り組みは	21
渡辺 忠夫 (日本共産党)	・補助教材費等保護者負担の軽減を ・温室効果ガス削減効果は	21



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲「危ないですね」と通所の保護者から声があるたかぎ保育所前

問 ①保育所事務負担軽減、保護者との連絡体制など便利になり喜ばしく、園児にむきあう時間状況および活用範囲は。②登降園チエック時にスマートフォンでなくホルダーにQRコード対応してはと伝えたが、対応状況は。

答 ①現在、保護者連絡機能、お知らせ受信機能、登降園時にスマートフォンでの管理機能を開始。運用できるメニューについては保育所の先生と相談しながら増やしていきたい。②登降園チエックできるバーコードをプリントし、希望者の方に配布。

問 たかぎ保育所と駐車場が道路を挟んでいる。園児は好奇心旺盛な時期でもあり、雨の日、突風による危険もある。ラバーポール増設、横断歩道に照明灯の設置など、交通事故を未然に防ぐ対策が必要である。道路横断の安全確保必要では。

答 現在、保育所や地元から県道の横断歩道について対策の要望がない。今後、交通環境変化等により地元からの要望等に対して一本松土木事務所、警察署と相談して安全対策が必要であれば県へ要望。安全運転の意識、交通ルール遵守が重要。

その他の質問

- ・スポーツ少年団の補助金の増額の考えは
- ・パトロール作業員、用務員に空調服導入しては



問 保育所ICTシステムについて
答 市内5か所の公立保育所に導入

後藤 友誉
(誠和会)



問 ①本年夏まつり花火の観覧者数は。②シャトルバス増発についての考え方は。③夏まつりの花火観覧環境の整備は。④市内戸ノ内林道と、井戸上団地への取付道路についての認識は⑤観客数が会場以外でのぐらいい把握しては。

答 ①観覧者数のみでは集計していない。②駐車場の確保、シャトルバス運行の方法を検討した。③夏まつり会場以外での環境整備をする考えはない。④高台であれば花火を見ることは可能と考えられる⑤概数を捉える考えはない。

問 ①観光物産協会への年間助成額は、春まつり、夏まつり、秋まつりへの支出は。夏まつり白沢会場廃止後、住民からの意見聴取事例は。②観光物産協会の監査結果の公表は。ホームページ等での公表については。③市道高木和田線の交通量の実態は。

答 ①令和6年度4、148万5千円、予算額は春まつり640万円、夏まつり850万円、秋まつり1、100万円。白沢会場廃止後住民の意見聴取等実施していない。②会員に周知している。それ以上の考えはない。③交通量調査実施の予定はない。

その他の質問

- ・若い人が集まるまちづくりの展望は
- ・暑さ対策の取組は



▲高台から見える夏祭りの花火



問 夏まつり魅力アップの方策は
答 新たな会場を整備する考えはない

磯松 俊彦
(誠和会)



問 観光物産協会決算内容の周知は
答 会員に周知、それ以上の考えはない

問 異常気象の暑い夏が続いている。冷房設備は熱中症予防の有効なツールである。総合体育館・白沢体育館ともに災害時には避難所になる。運動をする方々の健康管理、避難所としての機能を高める為に空調を整備すべきであると考えるが。



問 体育館の空調を整備すべきでは
答 空調設備の必要性を感じている

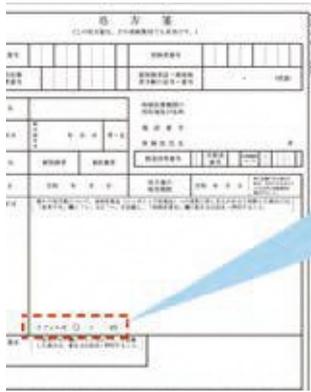
答 体育館はスポーツを行う為の施設である。異常気象等々もある。そのような中で避難所としての大切な役割もあるのので、空調設備の必要性を感じている。より良い方策等を考えていきたい。

問 今年度、仕出し弁当を試行的に導入している。保護者のアンケート等によると概ね好評である。保護者の負担を軽減する策として、次年度から1週間に1回程度でも良いので、仕出し弁当形式の給食サービスをするべきであると考えるが。

問 次年度の幼稚園給食について
答 実施の方向で検討する

答 保護者へのアンケートの結果、毎日希望、週に数回程度希望等、87.9%の方が配食を希望している状況である。給食サービスは保護者負担軽減に寄与することが出来ると考えている。実施の方向で検討すべきと考えている。

渡辺 富幸
(誠和会)



リフィル処方箋の場合、ここにレ点と使用可能な回数が書かれています。

リフィル可 〇 (3 回) または
リフィル可 〇 (2 回)

リフィル可 □ (〇 回)

▲リフィル処方箋の周知で通院の負担軽減を

問 不登校児童・生徒への対応の中核としてスマイルルームを活用していくという話だが、最大公約数的な支援、枠組みはできていると思うが個別最適に向けた取組というものが必要。児童・生徒が状況に合わせて選べる環境構築が必要では。

答 不登校に陥っている児童・生徒にとつて個別最適な学びという視点は大切である。タブレット端末を活用しスマイルルームをつないだり一部家庭で行った例があるので、リモート授業は技術的に可能。個々に応じた対応を図っていきたい。



問 不登校支援の計画は
答 個々に応じた対応を図っていく

問 リフィル処方箋勧奨の考えは
答 適切な普及を高めていきたい

問 リフィル処方箋とは、一定期間内に処方箋を反復利用できる制度。医療機関を受診することなく同じ薬を薬局で受け取ることができる。通院時間や費用の削減につながり、同時に医療費の削減も期待できる。周知と勧奨をすべきと思うが。

答 患者自身が意義や用途を理解し医師への相談の中でリフィル処方箋が扱われることは、医療費の適正化、負担軽減、医療資源の効率的利用につながる。リフィル処方箋の制度を分かりやすく周知し、適切な普及を高めてまいりたい。

菊田 広嗣
(誠和会)



その他の質問

- ・こども園の検討状況について
- ・カーブミラーの点検状況について



▲運動をする方々のため、避難所機能を高める為に体育館に空調は必要

その他の質問

- ・今後の農業の認識と課題は
- ・新規就農者への積極的な情報提供は



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲白沢野球場のトイレ（左）とサッカー場のトイレ（右）

問 小中学校のICT端末の児童・生徒及び先生方の利用状況は。児童・生徒及び先生方のタブレット（パソコン等）の苦手な方の対応は。NEXTGIGAスクールの本市の取組状況は。

答 小学校において、6年生の調査ではほぼ毎日あるは、週1回以上利用している。苦手な児童・生徒・先生については、ICT支援員の協力を得てスキル向上に努めている。NEXTGIGAについては、更新に向けて検討の段階。

問 これからの農業を継続するためには、後継者、担い手不足を解消するため、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用するスマート農業があるが、本市において現在の取組、または携わっている事案等はあるのか。

答 令和5年度末までにスマート農業技術等を用いた機械の導入及び導入予定をしていると回答した方は、5件あり、GPS誘導による直進アシスト田植機や防除用のドローン、または生産管理システムと連動した収量食味コンバインがある。

その他の質問

- スポーツ施設のトイレ改修は



問 GIGAスクールの運用現状は
答 全ての児童・生徒に整備している

国分 秀好
(新風会)



問 本市のスマート農業現状の取り組みは
答 使えるスマート農業を考えている

問 本市の南玄関口であるエリアの発展なしで本市の人口減少に歯止めが掛からないことも事実であることから、本宮インター、五百川駅他大規模開発計画マスタープラン構想を早期に明確にできる構図をつくること、始めの一步と考えられるが。

答 五百川駅周辺の地域拠点整備として五百川駅前広場を含む駅周辺道路の整備と民間活力による住宅整備の誘導、土地利用計画に応じた方針は掲げているが、更に具体的なプランについては現在のところ開発整備計画は定めていない。

問 本市は第2次総合計画後期基本計画を基礎的な手法として令和10年度において人口3万人の維持を掲げ、3つの基本構想と横断的な目標を持って事業構築を進めているがこれら掲げた目標について、具体的な内容イメージは。

答 人口は県内自治体と比較すると緩やかに将来的には減少することが見込まれる。このことから未来を担う子育て世代、若者の定住促進を継続する。また、さまざまなチャネルを活用して情報発信や魅力発信し、定住促進を進めていく。



問 本宮インター五百川駅の開発は
答 具体的な開発整備計画はない

玉川 実
(誠和会)



問 人口の減らない街の基盤づくりは
答 様々なチャネルを活用する



▲五百川駅とその周辺エリア

問 この通報システムは、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る目的で高齢者にとって不安なく安心できる命綱として大切なシステムだと思う。設置条件が65歳以上の独り暮らしとあるが、高齢者の生活条件により設置を検討できないか。

答 65歳以上の独り暮らしの高齢者、その他特に市長が認める者と要綱にある。現在介護認定を受けている、リスクの高い高齢者世帯に設置しているケースもある。要綱の通り申請のあった場合は調査し検討していきたい。

問 現在、核家族化が進み夫婦2人での子育てが主流。女性の社会進出も進み、子育てと家事、仕事の両立に悩みつつ傾向を引き起こし重症化する不眠・自傷・自殺・ひいては児童虐待等の事態を招いている。産後ケアが大切、その内容は。

答 デイケア・ショートステイ事業で心身のケアや育児サポート。出産ママヘルプ事業で家事や育児をヘルパーが支援。乳児家庭全戸訪問で助産師が訪問し子育てについて、不安や状況を傾聴したり今の状況を把握する機会を設けている。

その他の質問

- 産後ケア事業、今後の課題について



▲育児・子育てに不安を感じたら、まず相談を



問 緊急通報システム事業について
答 関係機関と連携し対応していく

田中美代子 (新風会)



▲本市小中学校プールの今後の在り方は

問 プールの老朽化が著しく改修改築への対応も急務と考えるが本市学校プールの築年数は。また、岩根小プールは劣化や機械設備の不具合で壊れてもおかしくない状況であり用地取得による学校プールと校庭拡張の計画は。

答 本市で最も早い建設は本宮二中で昭和46年で53年経過それ以外は昭和50年代に建設。必要に応じて補修や適切な保守点検継続。新たなプール改築、新築計画はない。岩根小の用地取得の際視野にあったが今後の教育施設の整備計画で判断する。



問 岩根小中学校プールと校庭拡張計画は
答 市内教育施設の整備計画で判断

根本 利信 (新風会)



問 市道脇水路U字溝整備計画は
答 緊急性を考慮しながら進める

問 青田猪森地区から高日向の市道は、土側溝のため土が蓄積し雨が降ると水が溢れ車等通行の妨げになる。大量の水流出で反対側の法面が崩れる危険性がある。猪森地区、高日向区長から毎年要望されているのに、なぜU字溝整備されないのか。

答 市道猪森線北側の水路は、ほとんど土側溝のまま側溝が整備されていない区間、当面は道路パトロールを実施し土砂堆積箇所から現地確認し早急に撤去作業を実施。側溝整備は、各地区から多くの要望があり緊急性等を考慮しながら進める。

その他の質問

- 学校給食放射性物質検査について
- 市道（砂利道）整備の考えと整備計画について



▲万世市有地の今後の活用は

問 ①万世市有地、面積478㎡の活用は。②石雲寺隣地の元火葬場の活用は。③サンライズもとみやの利用状況について。5年間民間活力で200人以上収容した事例は何件か。サンライズの運営を民間にまかせてはどうか。

答 ①祭り、イベント関係で駐車場として有効に利用している。民間の開発を望んでいるが、性急に売却は進めていない。②火葬場跡地計画は今のところない。③令和3年は9件、令和4年は10件、令和5年は16件。民間活用は、今後研究したい。

問 ①当時の利用者見込み数と現在の利用者の対比は。②10年後の駅利用者の見通しは。

答 ①駅東西自由通路整備計画に基づき駅舎建設、平成27年平均乗車人数1,847人。直近の令和5年度は1,427人である。②予測は、難しいが令和4年より微増している。利便性向上を目指して駅利用者が増えるよう取り組んでいきたい。



問 市有地・公共施設の活用について
答 性急に売却は進めていない

馬場 亨守
(創成会)



問 就学前年度の支援では遅い、就学前の早い段階から行政が適正な支援ができるような取り組みが必要と考える。支援を必要とする子どもは、早期発見・介入すると能力を発揮しやすくなる。就学前の早い時期から携わる考えは。

答 保護者の申し出等により実施している場合もある。幼稚園、保育所では毎日の保育の中で、発達障がいなどの疑いや発育が気になる子どもについては保健師と家庭相談員とも連携し、関係機関につなぐなど適正なサポートにつなげる。

問 独り暮らし世帯の増加の流れを変えるのは難しく、夫婦2人の世帯について、どちらかが死亡しそのまま同じ住居に住み続けられ、独り暮らしとなる。2050年を見据えて独り暮らしの高齢者の生活を守るための対策と取り組みは。

答 独り暮らしの高齢者世帯は728世帯、高齢者世帯568世帯で、急病や緊急時対策として緊急通報装置給付事業、救急医療情報キットの給付を行っている。関係機関と連携し安心して生活するために、幅広い見守り活動と支援を行う。

その他の質問

- ・自転車通学の安全対策は

小学校入学前
やってよかった



▲早い時期の就学支援を



問 就学前支援実施時期を早めては
答 学校保健安全法に基づき実施する

石橋今朝夫
(誠和会)



問 絵の具や習字用具など補助教材費、副教材費というところで学校で教育の一環として使う学用品の保護者負担があり、負担が大変。学年全員が負担する補助教材費用を公費負担としての要望ある負担軽減対策をすべきと思うが認識と見解は。

答 子育て世代における家計において教育費の占める割合は高いと認識している市として学校給食には昨今の物価高騰分も追加し、6割程度の支援はしている。子育て支援はトータルで負担軽減を進めている。今後この形を進めていく。

問 ゼロカーボン宣言をした。国連では「気候崩壊」が始まったと危機感を示し各国に対策の加速を促している。回復不能となる転換点に近づいている今ゼロカーボンに向けての計画はどうなっているかまた新たな補助事業の拡充の考えは。

答 令和3年度CO₂の排出状況やエネルギー消費の基礎調査をした。地球温暖化対策実行計画を有している。今年度はCO₂の見える化事業で公表する。4年度より蓄電池とV2H（自宅と電気自動車）を結び充電と給電ができる装置）を追加した。

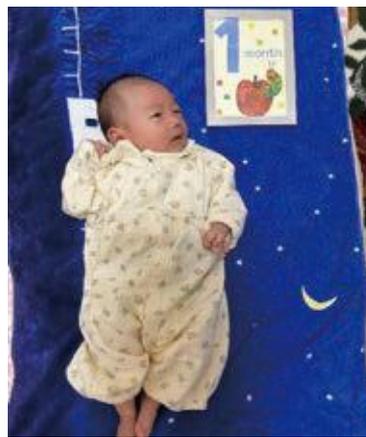


▲「V2H」のイメージ



問 補助教材費等保護者負担の軽減を
答 子育て対策はトータルで負担軽減

渡辺 忠夫
(日本共産党)



▲鳳雛（ほうすう）よ未来に羽ばたけ!!

問 ①1ヶ月検診については市単独事業で行われているが、自己負担無し現物給付の検討は②4歳～5歳はASDやADHD等の発達障害が認知される時期。早期発見・早期療育の為、市の乳幼児健診として、5歳児検診の導入の考えは。

答 ①現在、県と県医師会で協議中であり方針が分かり次第お知らせする。②保育所、幼稚園の先生方と連携を取り、その後フォローを行っている。発達障害や疑いのあるお子様については3歳児検診で把握しているため、導入は考えていない。

問 人生100年時代。世界的にも長寿化が進み、2007年に生まれた子どもの半分は、107年以上生きる時代が到来するとも言われ、プレコンセプションケアを子ども・子育て計画の中に盛り込みSNSやホームページなど普及啓発すべき。

答 国のことも大綱にも重点事項としてプレコンセプションケアが入っている。今後市の子ども計画にも盛り込み、プレコンと合わせて県の相談窓口も周知し女性の健康問題・更年期の原因や症状の記事を広報やホームページ等の掲載を検討する。



問 乳幼児健診の拡充は
答 現状の実施体制を継続したい

川名 順子
(本宮市議会 公明党)



問 健康支援の今後の取り組みは
答 プレコンの考え方を情報発信する

その他の質問

- ・マイナ保険証の普及と利用促進について

本宮市議会 市民との意見交換会



本宮市議会は、令和6年10月5日土曜日に令和6年度市民との意見交換会を開催しました。
中央公民館、若根農業構造改善センター、白沢公民館の各会場では市民の皆さまから様々な参考になるご意見をいただきました。

ご意見の内容は次回号（議会だより第82号）で紹介します。



表彰

市の振興発展に貢献し、その顕著な功績が認められた方を功労者として表彰することに同意しました。

特別功労表彰

- 國分 光壽氏（本宮字栄田）
学校歯科医（32年）
- 三瓶 義衛氏（松沢字下界）
消防団（28年）
- 消防団副団長（換算年数8年）

人事

今定例会では、市長から人権擁護委員の推薦について諮問があり、人権擁護委員法に基づき、次の方を法務大臣に推薦することに全会一致で同意しました。

人権擁護委員

- 遠藤 剛氏（仁井田字下ノ原）
- 内田 恒一氏（荒井字長山）
- 渡邊 好氏（糠沢字光が丘）
- 大内 祐子氏（本宮字万世）

あとがき

いつもご覧いただきありがとうございます。今月号の巻頭特集は先月各地区で行われた敬老会の様子を掲載させていただきました。

その折に皆様から、体験談だったり、苦労話であったり、本宮市の昔の風景の話であったり沢山聞かせていただきました。人に歴史ありと言いますが、まさに、そのお話しの内容は本宮市の歴史であり、本宮市の元気の源であると感じた時間でありました。朝晩の冷え込む時期となりました。体調管理には留意され元気で過ごしてください。今後ともよろしくお願ひします。（田中）

発行責任者

議長 橋本 善壽

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 委員 |
| 菅野 健治 | 馬場 亨守 | 磯松 俊彦 | 田中美代子 | 渡辺 富幸 | 後藤 友誉 | 根本 利信 | 菊田 広嗣 | 廣田 善壽 |

次回**12月議会定例会**は**12月2日**に開会予定です。請願・陳情の締切は**11月20日（16時まで）**です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。